

本鬼毛箒

昔から「一生に3本あれば足りる」といわれるほど長持ちする本鬼毛箒(棕櫚箒)。棕櫚皮の両端にある太く硬い鬼毛だけを1本ずつ手で抜き集め、手の感覚だけを頼りに束ねていく。緩くては毛が抜け、強すぎれば銅線が切れてしまう。惜しめない手間と時間をかけて作られた本鬼毛箒は芸術品とも言える程に美しい。適度な重さとしなりのお陰で掃き易く、棕櫚繊維の優しい摩擦が、掃くたびに畳表やフローリングに艶を与える。



仕上げに毛を整えるのに使う熊手。紀美野町の鍛冶屋さんによってもらった1点もの。

師匠の元で5年間修行を重ね、平成24年に独立した西尾香織さん。文字通り全て手作業で作るため、1本の本鬼毛箒が出来上がるのに1週間程度かかるという。

しゅろほうき
棕櫚箒製作舎

場所/海草郡紀美野町田163
<https://shurohouki.jp>

